

「円満死別」の家族会議



平成25年3月3日(日)

両親4人、我が家4人

合計8人、3世代が相談室に集まり、今後のことを話し合いました。

両家の付き合いが始まって22年。

気付けば、親は全員70才以上。

もう、いつ何が起きても不思議ではありません。

そろそろ「お別れの準備」が必要です。

2年ぶりの義父母の長崎訪問を機に、円満退職ならぬ「円満死別」をテーマに家族会議を企画したのです。

総合司会はもちろん、発起人の太田東西です(笑)

家族会議の議題は

遺言書は用意してあるか？

預貯金は夫婦それぞれ把握しているか？

延命治療（胃ろう、人工呼吸器など）は希望するか？

どこで最期を迎えたいか？ 自宅がいいか、病院でいいか？

葬儀、遺骨はどうしてほしいか？

子ども夫婦、孫たちに希望することは何か？

1時間、真剣に話し合いましたが

「親の財産目当てで企画したんだろ～！！」

そうした罵声も飛ぶことなく（笑）、両親4人の意向を確認できました。

遺言書をすでに書いている人もいましたが、まだの人もいました。

まだの人は、近々書くことを約束してくれました。

そして「いかに死んでいくか？」

リビングウィル（生前の意思）、尊厳死についても話し合いました。

「もっと、ずっと、1日でも長く健康で生きたい」

そのための太田東西漢方相談であり、親の健康長寿も願ってはいますが
よりよく「生きること」は「死ぬこと」を抜きに語れません。

お付き合いの長いお客様とは、相談室で話していますよね。

「ピンピンコロリで、家族に極力迷惑をかけずに、後悔のない感謝の気持ちで
旅立ちましょうね、そのための漢方相談ですよ（笑）」って。

これは私が目指す、そしておすすめの「生き方」と「逝き方」です。

自分の死、家族との死別・・・

誰でも避けて通りたいことですが、「その時」は必ず来ます。

ではその事実、どう対処していくか？

それから逃げる、思考停止している家族もいます。

「まだまだ自分は死なない」「まだまだ先だから今は必要ない」

今回、我が家はそれに向き合いました。避けることなく、「その時」について
3世代で話し合いました。

拒否しなかった4人の親を、私は誇りに思います。

この仕事をしてしていると、たまに驚くような話を見聞します。
親の看病に、手もお金も全く出さなかったのに、亡くなった後の遺産相続ではバリバリ「口を出す」子どもがいるようでして・・・
遺産の大小にかかわらず「骨肉の争い」が勃発し、きょうだい家族、親戚が断絶するケースがままある。親の死が戦争の火種となる（コワッ）。
これ、子の欲深さも問題ですが、親がきちんと遺言書を残していなかったこと事前に話し合いを持たなかったこと、それが一番の原因のようです。

私が皆さんにおすすめする逝き方は

『立つ鳥、跡を濁さず』

水鳥が水面を濁すことなく、サツときれいに飛び立って行くように
人間も潔く、波風を立てずに、穏やかに最期は旅立っていく・・・

私は異端児なので（笑）、親を招集して「遺言書」「逝き方」について尋ねることができましたが、ふつうはなかなか子の立場で親に訊けないもの。
だから、親は子に「自分の最期」について早めに伝えておく。それが親として子に対する最後の「教育」であり「親の務め」だと思います。



家族会議を終えた
太田東西とゆかいな仲間たち

えっ？ 私の遺言書？

今47才ですけど、もう中高年の域ですし、いつ何があるかわかりませんからすでに用意しています。

えっ？ 内容ですか？

お恥ずかしいですが、ちょっとだけ・・・息子らに向けて

人格、人間性、人生の中味は

「どれくらい得たか？」ではなく「どれくらい与えたか？」で決まる。
親の遺産などあてにせず、世のため人のため、施す人生を歩め！！

公開遺言になっちゃった・・・（笑）

涙、涙の義父孝行

2.28

義父母、娘の嫁ぎ先での滞在は1週間。娘婿も気合いが入ります！

毎週水曜日は妻のフラダンスの日。

「愛娘のフラを、ナマで見せてあげよう！」

突然ひらめいて、終了10分前になんとか間に合いまして

ついにその時が実現しました…(涙)



義父さん、舞台監督のようです…

婿「フラガール、どうでしたか？」 義父「娘しか見ていませんでした」

婿「もう死んでもいい？」 義父「いや、6月の発表会、また見に来たいです」

さらに義父孝行は続き…夕方、近くの温泉へ

御年80ですから、すべて転倒しないか？ のぼせて具合悪くならないか？

水死しないか…(笑) 目が離せません。

幸い懸念した事故もなく

義父、自力入浴で1時間しっかり楽しんでいました～

婿、最後の義父孝行…



乾かすのが大変でした…涙 (´ ˘ `)